無化学肥料栽培へのステップアップ

2024年度　特別栽培コシヒカリ（認証③）栽培ごよみ【移植】

ＪＡ越前たけふ
丹南農林総合事務所
越前市南越前町特別栽培
農産物生産者協議会

月旬別	2023年 9月～10月	2023年 10月～12月の期間中	2024年 4月 上旬	4月 中旬	4月 下旬	5月 上旬	5月 中旬	5月 下旬	6月 上旬	6月 中旬	6月 下旬	7月 上旬	7月 中旬	7月 下旬	8月 上旬	8月 中旬	8月 下旬	9月 上旬	9月 中旬	9月 下旬	9月～10月	10月～12月の期間中
時　期	土づくり	農閑期		育苗期		田植期、活着期			有効分げつ期		無効分げつ期		幼穂形成期		出穂期	登熟期			収穫期		土づくり	農閑期

水管理

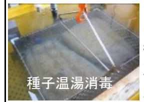
- 稲わらの鋤き込み 作土深１５cm以上（土づくり）
- 湛水管理（2ケ月以上）
- 荒おこし
- 代搔きから田植えまでを短く
- 代搔き
- 田植え
- 除草剤散布
- 現地検査
- 徐々に湛水 10cm程度の深水管理
- 中干し延期
- 中干し
- 現地検査
- 幼穂形成期から間断通水
- 間断通水
- 徐々に地固め
- 稲わらの鋤き込み 作土深１５cm以上（土づくり）
- 湛水管理（2ケ月以上）

管理作業の要点

スタートは土づくりから

土づくり
ケイカル
500kg/10a散布

育　苗



播種時にルーチンエキスパート粒剤を必ず散布有機肥料入り床土を使用

種子の温湯消毒後直ちに浸種（ＪＡへ必要量を注文）

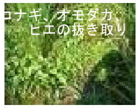
ハウス内温度は昼間25度以下　カビの発生を抑制する

田植え同時除草剤カウンシルコンプリート粒剤を散布

田植後は浅水管理で分げつ促進。水稲の生育に合わせて除草対策のため深水管理

最高分げつ期
茎数が25本/株あれば十分

有機肥料の場合、効果が出るまで約１週間かかる
幼穂長２㎜　　１回目
1回目の7日後　２回目



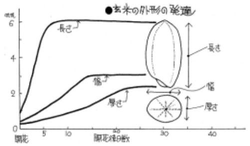
ラジコン防除

胴割米対策
収穫２～３日前までの間断通水

適期刈取
青籾割合10～15%
籾水分　20～25%

- 生き物や環境を育む活動「ふゆみずたんぼ」冬期湛水（２ケ月以上）
- 秋耕し　作土深１５cm以上
- 次年度に向けてけい酸補給と酸性土壌の改善
- 土づくり資材の散布　ケイカル５００kg／１０a
- クロレートやラウンドアップは使用しない
- 温湯消毒済み種子を使用（ＪＡから購入）
- 化学合成農薬の使用を低減する技術（温湯種子消毒技術）
- 水温６０℃で１０分間浸種（浸種後、直ちに冷却）
- 苗立枯病　ダコニール１０００　５００～１０００倍　０．５ℓ／箱
- 平坦地　４月２８日播種
- 山間地　５月７日播種
- （播種量　乾籾１３０ｇ／箱）
- ヨーバルプライムＥＶ　５０ｇ／箱（播種時～移植当日）
- 苗箱施用による葉いもち・紋枯病予防・イネミズゾウムシ他
- 土づくり　ミネラルＰＫ　６０kg／１０a
- くみあい床土（有機肥料入り）を使用
- 土づくりに関する技術（堆肥等有機質資材施用技術）
- 平坦地　５月１２日以降の田植え
- 山間地　５月１８日以降の田植え
- 極端な疎植は避ける（６０株／坪）
- 胴割・乳白米防止対策
- 基肥　ＨＧ有機６６６　６０kg／１０a
- 化学肥料の使用を低減する技術（有機質肥料施用技術）
- 除草剤散布　カウンシルコンプリート粒剤　１kg／１０a
- ※ジャンボ・フロアブル剤も可
- 除草剤散布（２回目）　クリンチャー粒剤　１～１．５kg／１０a
- 畦畔除草　ラウンドアップマックスロード液剤１００倍液
- 一斉草刈デー（６月下旬）
- 一斉草刈デー（７月上旬）
- 幼穂の確認
- １回目の穂肥（幼穂長２㎜）こだわり有機７１２
- ２回目の穂肥（１回目の７日後）こだわり有機７１２
- 個人防除　１回目エクシード粉剤ＤＬ　２回目アルバリン粉剤
- ラジコン　１回目エクシードＥＷ　２回目スタークルメイト液剤
- 出穂前～穂揃期カメムシ防除
- 出穂前後は湛水管理徹底
- 間断通水（収穫２日～３日前まで）
- フェーン時は予め入水、根の活性化を図る
- 胴割米防止対策
- １．９㎜以上網目で選別
- 籾水分２５％以下で収穫（９月１５日頃）

選別網、流量を適正に



- 生き物や環境を育む活動「ふゆみずたんぼ」冬期湛水（２ケ月以上）
- 秋耕し　作土深１５cm以上
- 次年度に向けてけい酸補給と酸性土壌の改善
- 土づくり資材の散布　ケイカル５００kg／１０a

化学肥料窒素　栽培期間中不使用

有機肥料窒素のみを使用する

ミネラルＰＫ　60kg

有機肥料入り床土

ＨＧ有機666　60kg

葉色、茎数、草丈に応じてこだわり有機712を施用
目安　平坦地30kg/10aの2回　山間地25kg/10aの2回

化学肥料窒素合計　不使用

節減対象農薬　10成分/10ａ以内

農薬の使用回数いずれも1回

ダコニール（1成分）

ヨーバルプライムEV箱粒剤（3成分）

カウンシルコンプリート粒剤
ジャンボ剤
フロアブル剤（2成分）

クリンチャー粒剤（1成分）

ラウンドアップ
マックスロード液剤（1成分）

エクシード粉剤ＤＬ（１成分）

アルバリン粉剤ＤＬ（１成分）

節減対象農薬合計　10成分